

You,
Unlimited



2018年度

龍谷大学

帰国生徒特別入学試験要項
中国引揚者等子女特別入学試験要項
社会人推薦入学試験要項

龍谷大学 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

龍谷大学は、建学の精神（浄土真宗の精神）に基づいて、「平等」、「自立」、「内省」、「感謝」、「平和」の意味を深く理解し、豊かな人間性と共生（ともいき）の精神を涵養するとともに、人間教育、教養教育、専門教育を通じて、「広い学識」と「進取の精神」を持って人類社会に貢献する人間を育成することを「教育にかかわる基本方針」として掲げています。この基本方針に基づき、次の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を掲げています。

龍谷大学の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）は、価値観が多様化する社会において、本学の建学の精神を体現するための意欲と各学部での教育に必要な適性を有した学生を、幅広く受け入れることを基本とします。

各学部は、龍谷大学の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）のもと、各学部それぞれの学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針に基づき、各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を定めるとともに、各入学試験を設定しています。

■各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

○文学部

文学部では、建学の精神に基づいて、人文学の知的体系の研究・教授を通じ、現代社会の複雑な変化や諸問題に、自己を見失うことなく積極的・主体的に対応しつつ、社会に貢献できる教養及び専門性を備えた人の育成を目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 文学部の教育理念や目的を十分に理解している人
- 2) 明確な目的意識と学修意欲とを持った人
- 3) 人文学の基盤となる「言葉」に対する鋭い感覚と正しい理解、そして豊かな運用能力のさらなる向上をめざして努力することのできる人

ついては、高等学校等での学習では、直接「言葉」に関する教科である「国語」、「英語（外国語）」を中心としつつ、志望する学科・専攻での専門的な学修に必要な基礎的学力を養うる教科についても幅広く学んでおくことを望みます。

○経済学部

経済学部では、21世紀初頭において日本と世界の経済が大きな転換期を迎えるなかで、経済のグローバル化、情報化、地域経済の役割の増大などといった現代社会が直面する課題に対応できるような人の育成を目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 社会に対する幅広い関心を持ち、主体的に学修できる人
- 2) 様々なツールを用いて、自己を豊かに表現する能力をもった人
- 3) 新たな問題を発見し、その解決に自ら進んで取り組む人

ついては、高等学校等での学習では、経済学部で教育を受けるうえで必要な幅広い教科の内容をしっかりと勉強することを望みます。

○経営学部

経営学部では、学生のそれぞれの学修目標にあわせて、少人数の演習学修と、理論と実践を組み合わせたカリキュラムを提供することによって、変化の激しい時代に対応でき、社会から信頼される経営人（働くことを通じて社会に貢献する人材）を育成することを目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 明確な目的意識と学修意欲をもった人
- 2) さまざまな場面で基本的な能力として求められるコミュニケーション能力をもった人
- 3) 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む人

ついては、高等学校等での学習では、国語や外国語の習得によりコミュニケーション能力を磨き、また社会科科目の幅広い習得により知的好奇心を高めることを望みます。

○法学部

法学部では、日本国憲法の理念を基礎に、法学と政治学の教育・研究を通じて、広い教養と専門的な知識をもって主体的に行動し、鋭い人権感覚と正義感のもとに自ら発見した問題を社会と連携して解決できる、自立的な市民の育成を目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 現代社会に生起する諸問題に広く関心を有するとともに、その解決に取り組む意欲を有する人
- 2) 問題を論理的に分析する能力や、自らの意見を論理的に表明する能力を有する人
- 3) 自ら問題を発見し、それについて自ら考え、行動する能力を有する人

ついては、高等学校等での学習では、国語や英語の学習を通して論理的思考力を養うとともに、他者の考えを理解し自らの考えを表明する力を鍛えること、歴史などの社会科科目の学習を通して現代社会に対する問題意識を高めることを望みます。

○政策学部

政策学部では、幅広い教養と専門的な知識を身につけて社会の持続可能な発展のために行動し、協働型社会を担うために必要な公共性と市民性を持ち、国際的な視点から政策を提案し実行する能力を備えた人の育成をめざしています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 人文・社会・自然科学の領域について幅広い関心を持ち、総合的な観点から現代社会の課題解決に取り組む意欲を持っている人
- 2) 国際的な視点から都市問題、環境問題などの地域社会の課題を解決することに関心を持っている人
- 3) 協働型社会を支える公共性と市民性を学ぶ意欲を持ち、政策立案と実施能力を備えた専門的職業人となるために勉学に取り組む人

については、高等学校等での学習では、コミュニケーション能力と論理的思考力を養い、国内外の社会問題に関心を持てるように、幅広く勉強することを望みます。

○国際学部

国際学部では、異文化への理解を深めるとともに、自文化についての発信力を養い、グローバル化が加速する時代において、柔軟な思考と批判的精神をもって対応できるコミュニケーション能力、問題解決能力及び倫理観を備えた人間の育成を目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) グローバル化が加速する時代の動向に強い関心と好奇心を有し、学部の教育理念を深く理解し、強い意欲をもって学んでいこうとする人
- 2) 異文化に対して寛容かつ柔軟に対応でき、国際的に貢献したいという明確な目的意識をもった人
- 3) 英語をはじめとする外国語の能力が高く、さらなる向上を目指す人

したがって、高等学校等での学習では、入学までに必要な基礎学力として、様々なコミュニケーションを行う上での基本ツールとなる英語、国語を中心として、国際学部で教育を受ける上で基本となる地理・歴史等、社会や文化に関連する科目を幅広く勉強し、併せて日頃から国内外の社会の動向に関心を持つことを望みます。

○理工学部

理工学部では、現代の自然科学を代表するキーワードである「情報」「システム」「エネルギー」「材料・物質」「環境」に対応し、人間と地球環境に調和した科学・技術の発展を支える6学科で構成されています。それぞれの学科において、最新の理学と工学を融合させることにより、新しい視点に立った学問の道を開き、時代の要請にかなった先端技術の発展に寄与する人材の育成を目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 広い分野にわたり基礎学力に優れ、科学的センスを持っている人
- 2) 明確な目的意識と勉学意欲を持っている人
- 3) 知的好奇心や自然科学への関心を持っている人

については、高等学校等での学習では、科学技術を学ぶ上で不可欠な英語・数学・理科を中心に、理工学部で教育を受ける上で基本となる高校での教科を幅広くしっかりと勉強していることを望みます。

○社会学部

社会学部では、社会を単なる人と人との結びつきと捉えるだけでなく、社会と環境との結びつきをも重視する必要があると考え、社会や地域における多様な関係を尊重する教育理念を掲げています。このような理念のもと、IT化、グローバル化、少子高齢化など急速な社会変化によって生じる現代社会の諸課題に対して、創造的に対応できる知識や専門的能力、問題解決能力を持った人の育成をめざしています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 現代社会に関して幅広く関心を持ち、社会学部の教育理念を深く理解し、明確な目的意識をもって勉学に取り組む人
- 2) 社会や地域に生起する諸問題を分析し、その解決を図る方法について考察する能力をもった人（社会学科・コミュニティマネジメント学科）
- 3) 社会福祉に関心を持ち、社会福祉専門職としての支援や、地域・企業・学校などさまざまな領域での社会貢献活動に意欲をもつ人（現代福祉学科）

については、高等学校等での学習では、さまざまなコミュニケーションを行う上での基本ツールとなる国語、英語、加えて、社会や歴史に関する科目を中心として、社会や身の回りのさまざまな事象に興味・関心を持てるよう、すべての教科を幅広くしっかりと勉強することを望みます。

○農学部

生命・資源・食料・経済 ～未来への持続可能な農業をめざして～

農学部の教育は、自然科学の領域だけでなく、人文・社会科学の領域や食品栄養学の領域を含む、幅広い分野の教育を、融合的に行うことをめざしています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) これら「食」と「農」を支える領域への幅広い興味と、農学への強い意欲をもっている人
- 2) 農学の教育を行うにあたって、自然科学と社会科学に関心があり、関連する実習や実験をやり遂げる意思と能力をもった人

については、高等学校等での学習では、農学部で教育を受ける上で基本となる高校での教科を幅広く基礎的事項についてしっかり勉強することを望みます。

〈植物生命科学科〉

本学科では、農業の基礎となる農作物の生育や変異の仕組みを正しく理解するために、植物を中心とした生命科学領域を学びます。このため、生物学、化学をはじめとする自然科学的基礎学力を習得し、コミュニケーション能力と学びに対する積極性を有している人を求めます。

〈資源生物科学科〉

本学科では、「食の安全・安心」を支える農作物を生産する上で不可欠な技術などを正しく理解するために、農業に直結する自然科学領域を中心に学びます。このため、生物学、化学をはじめとする自然科学的基礎学力を習得し、コミュニケーション能力と学びに対する積極性を有している人を求めます。

〈食品栄養学科〉

本学科は、人の健康維持・増進に役立つ「食」について学びます。また、管理栄養士養成課程であることから、人々の健全な食生活をサポートするために必要な専門的科目を中心に学びます。このため、生物学、化学をはじめとする自然科学的基礎学力を習得し、コミュニケーション能力と学びに対する積極性を有している人を求めます。

〈食料農業システム学科〉

本学科では「食」と「農」に関わる問題を、単なる技術的な問題ではなく、「社会や経済の仕組みの問題」として正しく理解し、その解決方法を検討・考察するために「食と農に関わる社会科学」を中心に学びます。文系科目の基礎学力がある人、もしくは理系科目の基礎学力がある人の双方を希望します。また、「食」と「農」に関わる国内外の社会問題・経済問題を学ぶためには、農業の現場においてフィールドワークを行うことが重要な意味をもっています。コミュニケーション能力と学びに対する積極性を有している人を求めます。

○短期大学部

〈社会福祉学科〉

社会福祉学科では、講義や演習だけでなく、社会福祉施設等における実習教育など、実社会での実践的・体験的な学びを重視しています。そのような学びの中で、豊かな人間性、共生（ともいき）の精神、広い学識、進取の精神、福祉全般にわたる基礎的教養、専門的知識、実践的能力を身に付けた人の育成を目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 読み書きなどの基礎的な学力を確実に身につけた人
- 2) 行動力や主体的に学ぶ姿勢、社会性、多様な立場の人たちとコミュニケーションをとる力、体験をとおして多くのことを感じ取るための鋭い感性、そして、体験をとおして感じたことを整理する力、つまり思考力や文章力など、実践的・体験的な学習に必要な力をもった人
- 3) ディスカッションを行う能力や、ディスカッションをとおして多様な考え方があることを知り、多様な考え方から多様なことを柔軟に学び取る能力をもった人
- 4) 短期大学部の教育理念を深く理解し、明確な目的意識と勉学意欲をもった人

については、高等学校等の学習では、コミュニケーションを行う上での基本ツールとなる国語、英語を中心として幅広く教科を勉強し、基礎的な学力を確実に身につけるとともに、入学までにさまざまな体験に積極的にチャレンジし、明確な目的意識を形成し、体験をとおしてさまざまなことを学び取ることに慣れておくことを望みます。

〈こども教育学科〉

次代における保育・幼児教育の専門職養成をめざす、こども教育学科のアドミッションポリシーは、その目的達成のために以下の3点の適性を重視して入学者の選抜を行う。

- 1) 教育の前提であり、保育・幼児教育の専門職となるための適性として、一定程度の国語力（読む・書く・話す等、言語的なコミュニケーションの力）を有する者であること。
- 2) 専門職となるための適性として、相応の生活経験（掃除、調理や洗濯等の家事遂行の経験等）を有する者であること。
- 3) 保育・幼児教育現場の特性に考慮し、一定程度の臨機応変な対応能力（即興で課題に取り組む意欲や機転、発想力等）を有する者であること。

帰国生徒特別入学試験

募集学部・募集人員

募 集 学 部	募 集 人 員
国際学部（国際文化学科のみ）	30名（外国人留学生・中国引揚者等子女含む）
文学部、経済学部、経営学部、法学部、政策学部、理工学部、社会学部、農学部、短期大学部	各学部とも 若干名

※経済学部は現代経済学科、国際経済学科の2学科で一括して募集を行います。

出 願 資 格

日本国籍を有する者、あるいは日本に永住権を有する者であって、保護者の海外勤務、その他の事情により外国の学校教育を受け、2016年4月1日以降に帰国し、次の(1)から(6)のいずれかに該当する者。

- (1)外国の高等学校において、最終学年を含め2学年以上在学し、外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育を含む）を2016年4月1日以降に卒業（修了）した者および2018年3月卒業（修了）見込みの者。
- (2)外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格またはこれに準ずる資格を取得した者で、2018年3月31日までに18歳に達する者。
- (3)日本の高等学校もしくは中等教育学校を2018年3月卒業見込みの者で次のいずれかに該当する者。
 - ①外国の高等学校に2学年以上在学した者。
 - ②外国の中学校・高等学校を通じて3学年以上在学した者。
- (4)文部科学省の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者、および2018年3月までに合格見込みの者で、2018年3月31日までに18歳に達し、かつ、次のいずれかに該当する者。
 - ①外国の高等学校に2学年以上在学した者。
 - ②外国の中学校・高等学校を通じて3学年以上在学した者。
- (5)外国において正規の教育制度に基づく教育を受け、公益財団法人海外子女教育振興財団の定める「帰国生徒の受け入れを主たる目的として設置された高等学校」に編入した者で、2018年3月卒業見込みの者。
- (6)その他、上記(1)および(2)と同等以上の資格を有すると認められる者。

注1. 外国に設置された学校等であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学した者については、その期間は、外国の学校教育を受けたものとはみなされません。

2. 外国の学校教育において「飛び級」または「繰り上げ卒業」により通常の12年の課程を満たさずして卒業した者については、審査の上、出願を認めることがあります。

出 願 期 間

2017年10月23日(月)～2017年11月2日(木)〈締切日必着〉

出願書類

- (1)出願シート（本学所定用紙）
 写真は、入学が許可された場合には、学生証や教務情報等に使用します。卒業するまで使用するのに相応しい服装とします（制服以外が望ましい）。
 ※入学後、学生証の写真を書き替える場合は、有償となります。
- (2)高等学校の卒業（見込み）証明書
 出願資格(2)(4)(6)に該当する者は不要です。
- (3)高等学校卒業程度認定試験の合格証明書または合格成績証明書
 出願資格(4)に該当する者のみ提出してください。なお、2017年11月実施の高等学校卒業程度認定試験を受験する者は、「受験票」の写しと、「受験科目等の決定について」の写しを提出してください。
- (4)高等学校の成績証明書
 複数の高等学校に在学した場合は、すべての高等学校での成績証明書を提出してください。
 日本の高等学校卒業（見込み）者は、出身高等学校長が作成した調査書も提出してください。
- (5)パスポートの写し（日本国籍を有する者のみ）
 氏名・国籍・生年月日・顔写真が記載されたページを鮮明にコピーして提出してください。
- (6)住民票の写し（日本に永住権を有する者のみ）
 「国籍」「在留資格」「在留カード等の番号」が記載されるよう、発行元に依頼してください。
 ※世帯については「世帯全員」「世帯一部」のどちらを選択しても構いません。
- (7)学歴記入シート（本学所定用紙）
 記入欄が不足する場合は、別紙に記入し添付してください。
- (8)国際バカロレア資格取得者は、資格証明書の写しと成績証明書を提出してください。
- (9)外国において、その国の教育制度による統一試験等を受験した場合、その試験の成績（評価）証明書を提出してください。
- (10)「飛び級」「繰り上げ卒業」の場合は、その証明書を提出してください。
- 注1. いったん提出された出願書類は、返却しません。
 2. 上記の提出書類の他に、本学が必要と判断した場合は、書類の提出を求めることがあります。
 3. 日本語または英語以外で書かれている場合は、駐日外国公館・在外公館等の公的機関による法定翻訳または在籍校（日本語学校を含む）による公印つき翻訳（日本語または英語）を添付してください。
 4. 証明書のコピーは一切不可です。
 5. 出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には受験できません。
 6. 不明な点がありましたら龍谷大学入試部までお問い合わせください。

個人情報の取り扱いについて

出願書類等に記入された個人情報は、受験票発行や合否結果通知等本学入学試験に関わる事項および個人を特定しない各種統計資料作成のために使用いたします。また、本人の同意を得ることなく第三者に個人情報を提供することはありません。

※本学の個人情報保護への取り組みについては以下のホームページにてご確認ください。

<http://www.ryukoku.ac.jp/privacy.html>

試験日・試験会場・試験科目・試験時間・合否判定

1. 第1次審査（受験資格審査）

出願書類により、出願者の受験資格の有無を審査します。
 受験資格を有すると判定された者には、受験票を郵送します。
 受験資格無しと判定された者には、その結果を通知します。
 受験資格の審査結果を通知する時期は、試験日の約7日前頃となります。
 第1次審査で受験資格を有すると判定された者のみ、第2次審査を受験することができます。

2. 第2次審査

(1)試験日・試験会場

学 部	試 験 日	試 験 会 場
文学部・経済学部・経営学部・法学部・政策学部・ 国際学部(国際文化学科のみ)・短期大学部	2017年11月26日(日)	龍谷大学深草キャンパス（京都市伏見区深草塚本町67）
理工学部・社会学部・農学部		龍谷大学瀬田キャンパス（大津市瀬田大江町横谷1-5）

(2)試験科目・試験時間

学 部	試 験 科 目	試 験 時 間
文学部・経済学部・経営学部・法学部・ 政策学部・国際学部(国際文化学科のみ)・ 社会学部・短期大学部	説明	8：50～9：10
	小論文	9：10～10：10
	面接	10：30～

学 部	試 験 科 目	試 験 時 間
理 工 学 部	説明	12：50～13：10
	数学[数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B [※]] または化学[化学基礎・化学]から1科目選択 <small>*化学を選択解答できるのは物質化学科と環境ソリューション工学科の 受験生のみです。 ※ 数学Bは「数列」「ベクトル」から出題します。</small>	13：10～14：40
	面接	15：00～

学 部	学 科	試 験 科 目	試 験 時 間
農学部	植物生命科学科 資源生物科学科 食品栄養学科	説明	12：50～13：10
		理科【化学（化学基礎・化学）または生物（生物基礎・生物）から1科目選択】	13：10～14：10
		面接	14：30～
	食料農業システム学科	説明	12：50～13：10
		小論文	13：10～14：10
		面接	14：30～

試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

小論文・面接について

文 学 部	小論文	受験生の論理的思考力や文章表現力等を評価し、文学部で学ぶにあたっての適性を判定します。
	面 接	文学部が定める入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）への深い理解を前提として、志望する学科・専攻に対する明確な動機と学習意欲などを中心に面接します。
経 済 学 部	小論文	受験生の論理的思考力や文章表現力等を評価し、経済学部での学修にあたっての適性を判定します。
	面 接	経済学部の入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)について事前に理解しておくことを前提に、出願書類を基に志望動機・大学での学修の抱負などを中心に面接します。
経 営 学 部	小論文	経営学部で学ぶにあたり、受験生の思考力や文章表現力を評価します。
	面 接	経営学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）について事前に理解しておくことを前提に、出願書類を基にして、志望動機・海外経験・大学生活の抱負などをふまえて適性を判定します。

法 学 部	小論文	受験生の論理的思考力や文章表現力等を評価し、法学部で学ぶにあたっての適性を判定します。
	面接	法学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）について事前に理解しておくことを前提に、法学部での学びの目標やどのような学生生活を送ろうとしているのか等を中心に面接します。
政 策 学 部	小論文	受験生の文章表現力や論理性などを評価し、政策学部で学ぶにあたっての適性を判定します。
	面接	政策学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）について事前に理解しておくことを前提に、政策学部での学びの目標やどのような学生生活を送ろうとしているのか等を中心に面接します。
国 際 学 部 国際文化学科	小論文	受験生の思考力、文章構成力などを評価し、国際学部国際文化学科で学ぶにあたっての適性や素質を判定します。
	面接	国際学部国際文化学科での勉学を強く希望し入学を志す理由、海外で受けた授業はこの学部でどう活かせるか、海外で生活して自分がどのように変わったか等その他、国際的コミュニケーションに重要な異文化を理解する素養を有しているかについて面接します。
理 工 学 部	面接	理工学部への志望動機や勉学意欲などを対話によって確認し、コミュニケーション力などについて評価します。
社 会 学 部	小論文	受験生の思考力、意見表明能力を評価し、社会学部で学ぶにあたっての適性・素質を判定します。
	面接	個人面接です。この試験では、社会学部での勉学を強く希望し入学を志すのかについての適性・素質を判定します。入学後も学業に情熱を注ぎ続けることのできる強い意志を有しているかについても判定します。
農 学 部	小論文	受験生の論理的思考力や文章表現力等を評価し、農学部で学ぶにあたっての適性を判定します。
	面接	農学部が定める入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）への深い理解を前提として、志望する学科・専攻に対する明確な動機と学習意欲などを中心に評価します。
短期大学部	小論文	短期大学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に記載された求める能力等のうち、読み書きなどの基礎的な学力、思考力、感性、目的意識や勉学意欲を中心に評価します。
	面接	短期大学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に記載された求める能力等のうち、行動力、主体的に学ぶ姿勢、社会性、コミュニケーション力、感性、思考力、短期大学部の教育理念についての理解、目的意識や勉学意欲を中心に評価します。

〈合否判定〉

出願書類、試験科目を総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日を欠席扱いとし、結果は通知しません。

合 格 発 表

2017年12月9日(土)に、本人宛に特定記録・速達で郵送します。
合否結果に関する電話での問い合わせには一切応じられません。

入 学 手 続

合格者には、合格通知書とともに入学時までに必要な提出書類や手続方法を通知します。
所定の期日までに入学手続（ⅠおよびⅡ）を完了してください。

入学手続Ⅰ 下記期間内に、入学申込金200,000円を納入してください。

手続期間 2017年12月11日(月)～2017年12月15日(金)

国外居住者については、2017年12月11日(月)～2017年12月22日(金)

入学手続Ⅱ 下記期間内に、入学時納入金と入学申込金との差額を納入してください。期間内に納入が完了しない場合は、入学を辞退したものとみなします。

手続期間 2017年12月11日(月)～2018年2月16日(金)

注1. 手続期間経過後の入学手続は、いかなる事情があっても一切認めませんので充分注意してください。

2. 学費・諸会費については、16ページを参照してください。

3. 入学手続の詳細については、合格通知書送付の際通知します。

4. いったん納入された入学申込金は返還しません。その他の入学時納入金の返還については、15ページの「授業料等返還制度」を参照してください。

中国引揚者等子女特別入学試験

募集学部・募集人員

募集学部	募集人員
国際学部（国際文化学科のみ）	30名（外国人留学生・帰国生徒を含む）

出願資格・出願条件

日本国籍を有する者、または日本国の永住許可もしくは定住許可を得ている者で、次の(1)から(3)のすべてに該当し、かつ(4)から(6)のいずれか一つに該当する者

- (1)終戦前（＝昭和20（1945）年9月2日以前）から引き続き中国に居住した者（これを親として戦後中国において出生した者を含む）で、戦後初めて永住の目的をもって帰国した者の子女であること
- (2)帰国後小学校4年以上の学年に入学した者であること
- (3)上記に該当する者で日本語理解、表現に関する能力を有すると本学が認める者
- (4)高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および2018年3月卒業見込みの者
- (5)通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2018年3月に修了見込みの者
- (6)学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2018年3月31日までにこれに該当する見込みの者（次の①から⑥のいずれかに該当する者）
 - ①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ③文部科学大臣の指定した者
 - ④文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者、および2018年3月31日までに合格見込みの者で2018年3月31日までに18歳に達する者
 - ⑤文部科学大臣が行う大学入学資格検定に合格した者
 - ⑥その他本学において相当の年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※本学では以下の学校を修了した者については出願資格を認めています

【朝鮮高級学校：12校】北海道朝鮮初中高級学校、東北朝鮮初中高級学校、茨城朝鮮初中高級学校、東京朝鮮中高級学校、神奈川朝鮮中高級学校、愛知朝鮮中高級学校、京都朝鮮中高級学校、大阪朝鮮高級学校、神戸朝鮮高級学校、広島朝鮮初中高級学校、山口朝鮮高級学校、九州朝鮮中高級学校

【外国人学校：5校】東京インターナショナル・ラーニング・コミュニティ、ファウンテン・オブ・ライフ・インターナショナルスクール、インターナショナル・セカンダリー・スクール、横浜インターナショナル・クリスチャン・アカデミー、関西クリスチャンスクール

出願期間

2017年10月23日(月)～2017年11月2日(木)〈締切日必着〉

出願書類

- (1)出願シート（本学所定用紙）
写真は、入学が許可された場合には、学生証や教務情報等に使用します。卒業するまで使用するのに相応しい服装とします（制服以外が望ましい）。
※入学後、学生証の写真を差し替える場合は、有償となります。
- (2)学歴記入シート（本学所定用紙）
- (3)中国引揚者等子女証明書（本学所定用紙）
出願資格(6)に該当する者で、本証明書の提出ができない場合は、その記載内容を証明する書類を提出してください（詳細は入試部へお問い合わせください）。
- (4)調査書（出身学校長が作成し、厳封したもの）
高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（見込み者）は、その「成績証明書」および「修了証明書」等を提出してください。
高等学校卒業程度認定試験および大学入学資格検定合格者は「合格証明書」を、高等学校卒業程度認定試験合格見込み者は「合格見込成績証明書」を提出してください。

※いったん提出された出願書類は、返却しません。

※出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には受験できません。

個人情報の取り扱いについて

出願書類等に記入された個人情報は、受験票発行や合否結果通知等本学入学試験に関わる事項および個人を特定しない各種統計資料作成のために使用いたします。また、本人の同意を得ることなく第三者に個人情報を提供することはありません。

※本学の個人情報保護への取り組みについては以下のホームページにてご確認ください。

<http://www.ryukoku.ac.jp/privacy.html>

試験日・試験会場

試験日	試験会場
2017年11月26日(日)	龍谷大学深草キャンパス（京都市伏見区深草塚本町67）

試験科目・試験時間・合否判定

試験科目	試験時間
説 明	8：50～9：10
小 論 文	9：10～10：10
面 接	10：30～

試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

小論文・面接について

小 論 文	受験生の思考力、文章構成力などを評価し、国際学部国際文化学科で学ぶにあたっての適性や素質を判定します。
面 接	国際学部国際文化学科での勉学を強く希望し入学を志す理由、入学後も学業に情熱を注ぎ続けられる意欲と勤勉さの持ち主であるか、国際的コミュニケーションに重要な異文化を理解する素養を有しているかについて面接します。

〈合否判定〉

小論文と面接を総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日を欠席扱いとし、結果は通知しません。

合格発表

2017年12月9日(土)に本人に特定記録・速達で郵送します。

合否結果に関する電話での問い合わせには一切応じられません。

入学手続

合格者には、合格通知書とともに入学時までに必要な提出書類や手続方法を通知します。

所定の期日までに入学手続（ⅠおよびⅡ）を完了してください。

入学手続Ⅰ 下記期間内に、入学申込金200,000円を納入してください。

手続期間 2017年12月11日(月)～2017年12月15日(金)

入学手続Ⅱ 下記期間内に、入学時納入金と入学申込金との差額を納入してください。期間内に納入が完了しない場合は、入学を辞退したものとみなします。

手続期間 2017年12月11日(月)～2018年2月16日(金)

注1. 手続期間経過後の入学手続は、いかなる事情があっても一切認めませんので充分注意してください。

2. 学費・諸会費については、16ページを参照してください。

3. 入学手続の詳細については、合格通知書送付の際通知します。

4. いったん納入された入学申込金は返還しません。その他の入学時納入金の返還については、15ページの「授業料等返還制度」を参照してください。

社会人推薦入学試験

募集学部・募集人員

学 部	学 科 ・ 専 攻	募集人員	
文 学 部	真 宗 学 科	若干名	
	仏 教 学 科	若干名	
	哲 学 科	哲 学 専 攻	若干名
		教 育 学 専 攻	若干名
	臨 床 心 理 学 科	若干名	
	歴 史 学 科	日 本 史 学 専 攻	若干名
		東 洋 史 学 専 攻	若干名
		仏 教 史 学 専 攻	若干名
		文 化 遺 産 学 専 攻	若干名
	日 本 語 日 本 文 学 科	若干名	
英 語 英 米 文 学 科	若干名		
国 際 学 部	国 際 文 化 学 科	若干名	
	グローバルスタディーズ学科	若干名	
短 期 大 学 部	社 会 福 祉 学 科	若干名	
	こ だ も 教 育 学 科	若干名	

出 願 資 格 ※夜間に開講される課程ではありませんので、ご注意ください。

〈文学部〉

2018年4月1日現在、満23歳に達し、次の(1)から(3)のいずれかに該当し、かつ(4)から(6)のいずれかに該当する者

- (1)高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および2018年3月卒業見込みの者
- (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3)学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（次の①～⑥のいずれかに該当する者）
 - ①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者。またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有する者として認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ③文部科学大臣の指定した者
 - ④文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者、および2018年3月31日までに合格見込みの者
 - ⑤文部科学大臣が行う大学入学資格検定に合格した者
 - ⑥その他本学において相当の年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※本学では以下の学校を修了した者については出願資格を認めています。

【朝鮮高級学校：12校】北海道朝鮮初中高級学校、東北朝鮮初中高級学校、茨城朝鮮初中高級学校、東京朝鮮中高級学校、神奈川朝鮮中高級学校、愛知朝鮮中高級学校、京都朝鮮中高級学校、大阪朝鮮高級学校、神戸朝鮮高級学校、広島朝鮮初中高級学校、山口朝鮮高級学校、九州朝鮮中高級学校

【外国人学校：5校】東京インターナショナル・ラーニング・コミュニティ、ファウンテン・オブ・ライフ・インターナショナルスクール、インターナショナル・セカンダリー・スクール、横浜インターナショナル・クリスチャン・アカデミー、関西クリスチャンスクール

(4)勤労者等

- ①就業者・就業予定者等（公務員、会社・団体等勤務者、自営者、自活者、就業予定者、自活予定者）
 - ②就業経験のある者（定年退職者等）
- (5)主婦等（主婦、その他家事従事者）
- (6)寺院関係者（浄土真宗をはじめとする仏教各宗派の住職、坊守、寺族、門徒推進員、門徒推進員予定者、門信徒等）

〈国際学部〉

2018年4月1日現在、20歳に達し、かつ2016年3月31日までに次の(1)から(3)のいずれかに該当する者。

- (1)高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3)学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
(次の①から⑥のいずれかに該当する者)
 - ①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ③文部科学大臣の指定した者
 - ④文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
 - ⑤文部科学大臣が行う大学入学資格検定に合格した者
 - ⑥その他本学において相当の年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※本学では以下の学校を修了した者については出願資格を認めています。

【朝鮮高級学校：12校】北海道朝鮮初中高級学校、東北朝鮮初中高級学校、茨城朝鮮初中高級学校、東京朝鮮中高級学校、神奈川朝鮮中高級学校、愛知朝鮮中高級学校、京都朝鮮中高級学校、大阪朝鮮高級学校、神戸朝鮮高級学校、広島朝鮮初中高級学校、山口朝鮮高級学校、九州朝鮮中高級学校

【外国人学校：5校】東京インターナショナル・ラーニング・コミュニティ、ファウンテン・オブ・ライフ・インターナショナルスクール、インターナショナル・セカンダリー・スクール、横浜インターナショナル・クリスチャン・アカデミー、関西クリスチャンスクール

〈短期大学部〉

本学の建学の精神を理解し、2018年4月1日現在において22歳に達し、かつ2014年3月31日までに以下の(1)から(3)のいずれかに該当する者。

- (1)高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3)学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
(次の①から⑥のいずれかに該当する者)
 - ①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ③文部科学大臣の指定した者
 - ④文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
 - ⑤文部科学大臣が行う大学入学資格検定に合格した者
 - ⑥その他本学において相当の年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※本学では以下の学校を修了した者については出願資格を認めています。

【朝鮮高級学校：12校】北海道朝鮮初中高級学校、東北朝鮮初中高級学校、茨城朝鮮初中高級学校、東京朝鮮中高級学校、神奈川朝鮮中高級学校、愛知朝鮮中高級学校、京都朝鮮中高級学校、大阪朝鮮高級学校、神戸朝鮮高級学校、広島朝鮮初中高級学校、山口朝鮮高級学校、九州朝鮮中高級学校

【外国人学校：5校】東京インターナショナル・ラーニング・コミュニティ、ファウンテン・オブ・ライフ・インターナショナルスクール、インターナショナル・セカンダリー・スクール、横浜インターナショナル・クリスチャン・アカデミー、関西クリスチャンスクール

出 願 期 間

2017年10月18日(水)～2017年10月27日(金)〈締切日消印有効〉

出願書類

- (1)出願シート（本学所定用紙）
 写真は、入学が許可された場合には、学生証や教務情報等に使用します。卒業するまで使用するのに相応しい服装とします。
 ※入学後、学生証の写真を差し替える場合は、有償となります。
- (2)自己推薦書（本学所定用紙）
- (3)調査書（出身学校長が作成し、厳封したもの）
 卒業後、一定の期間が経過し、「調査書」が発行できない場合は、「調査書が発行できない旨を証明する高等学校長の文書（任意書式）」「卒業証明書」「成績証明書または単位修得証明書」の3点を提出してください。
 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者は、その「成績証明書」および「修了証明書」等を提出してください。
 高等学校卒業程度認定試験および大学入学資格検定合格者は「合格証明書」を提出してください。
 ※いったん提出された出願書類は、返却しません。
 ※各種証明書の氏名が現在の氏名と異なる場合は、戸籍抄本等（コピー不可）を提出してください。
 ※出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には受験できません。

個人情報の取り扱いについて

出願書類等に記入された個人情報は、受験票発行や合否結果通知等本学入学試験に関わる事項および個人を特定しない各種統計資料作成のために使用いたします。また、本人の同意を得ることなく第三者に個人情報を提供することはありません。

※本学の個人情報保護への取り組みについては以下のホームページにてご確認ください。

<http://www.ryukoku.ac.jp/privacy.html>

試験日・試験会場

試験日	学部	試験会場
2017年11月12日(日)	文学部・国際学部・短期大学部	龍谷大学深草キャンパス（京都市伏見区深草塚本町67）

試験科目・試験時間・合否判定

学部	試験科目	試験時間
文学部	説明	8：50～9：10
	小論文	9：10～10：40
	面接	11：00～

学部・学科	試験科目	試験時間
国際学部 短期大学部社会福祉学科	説明	8：50～9：10
	小論文	9：10～10：10
	面接	10：30～

学部・学科	試験科目	試験時間
短期大学部こども教育学科	説明	8：50～9：10
	国語（国語力基礎テスト）	9：10～9：55
	面接	10：15～

試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

小論文・面接について

文学部	小論文	受験生の論理的思考力や文章表現力等を評価し、文学部で学ぶにあたっての適性を判定します。
	面接	文学部が定める入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）への深い理解を前提として、志望する学科・専攻に対する明確な動機と学習意欲などを中心に面接します。
国際学部	小論文	受験生の思考力、文章構成力などを評価し、国際学部で学ぶにあたっての適性や素質を判定します（グローバルスタディーズ学科では英語での小論文となります）。
	面接	国際学部での勉学を強く希望し入学を志す理由、入学後も学業に情熱を注ぎ続けられる意欲と勤勉さの持ち主であるか、国際的コミュニケーションに重要な異文化を理解する素養を有しているかについて面接します（グローバルスタディーズ学科では日本語と英語を併用して面接を行います）。

短期大学部	小論文	短期大学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に記載された求める能力等のうち、読み書きなどの基礎的な学力、思考力、感性、目的意識や勉学意欲を中心に評価します。
	国語 (国語力基礎テスト)	漢字の読み書き、対義語、四字熟語、敬語等について基礎的な内容を問います。幅広い年齢の人たちとコミュニケーションをとるうえで必要な、基礎的な国語力をみます。
	面接	短期大学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に記載された求める能力等のうち、行動力、主体的に学ぶ姿勢、社会性、コミュニケーション力、感性、思考力、短期大学部の教育理念についての理解、目的意識や勉学意欲を中心に評価します。

〈合否判定〉○文学部・国際学部・短期大学部社会福祉学科
出願書類、試験科目を総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日を欠席扱いとし、結果は通知しません。

○短期大学部こども教育学科
出願書類、国語（国語力基礎テスト）および面接を総合し、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日を欠席扱いとし、結果を通知しません。

合格発表

2017年11月18日(土)に本人宛に特定記録・速達で郵送します。
合否結果に関する電話での問い合わせには一切応じられません。

入学手続

合格者には、合格通知書とともに入学時までに必要な提出書類や手続方法を通知します。
所定の期日までに入学手続（IおよびII）を完了してください。

入学手続Ⅰ 下記期間内に、入学申込金200,000円を納入してください。
手続期間 2017年11月20日(月)～2017年11月24日(金)

入学手続Ⅱ 下記期間内に、入学時納付金から入学申込金を差し引いた金額を納入してください。
手続期間 2017年11月20日(月)～2018年2月16日(金)

注1. 手続期間経過後の入学手続は、いかなる事情があっても一切認めませんので充分注意してください。
2. 学費・諸会費については、16ページを参照してください。
3. 入学手続の詳細については、合格通知書送付の際通知します。
4. いったん納入された入学申込金は返還しません。その他の入学時納入金の返還については、15ページの「授業料等返還制度」を参照してください。

共通事項

出願書類送付先

〒604-8799 中京郵便局留 「龍谷大学入学試験願書受付センター」宛（郵送に限ります。）
※本学所定の封筒にて、簡易書留・速達で郵送してください。

受験料・納入方法

受験料 35,000円

- (1)出願シートの振込依頼書に記入の上、金融機関（銀行等）窓口にて出願期間内に納入してください。
取扱金融機関収納印をもって納入とみなします。受験料領収書は本人控えです。
- (2)いったん納入された受験料は返還しません。

感染症（インフルエンザ等）による受験料返還について

学校保健安全法施行規則第19条で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ・はしか等）にかかり、治癒していない場合、その感染症が他の受験生や監督者に拡がるおそれがありますので、原則として入学試験の受験をご遠慮願います。

学校保健安全法施行規則第19条で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ・はしか等）にかかり、治癒していないために本学入学試験を欠席する場合は、当該入学試験（欠席日分）にかかる受験料を返還いたしますので、本学HP（<http://www.ryukoku.ac.jp/admission/nyushi/syutsugan/henkan2.html>）で手続きを確認し、各自行ってください。

授業料等返還制度

全ての入学手続完了後、入学を辞退される場合は、**2018年3月31日(土)15:00まで（提出書類必着）**に手続をしてください。所定の手続を完了されることにより、入学申込金（200,000円）を除く入学時納入金を返還します。
手続の方法は合格者に送付する「入学ハンドブック」でご確認ください。

注 意 事 項

1. 試験中はすべて監督者の指示に従ってください。指示に従わないときは不正行為とみなし、全科目を無効とします。
2. 龍谷大学入学試験では、障がい等のある受験生のために受験上の配慮を行います。受験上の配慮を希望する受験生は、出願等の手続をする前に本学へ必ずご連絡ください。

学 費 等

2018年度入学者の学費および諸会費は2017年9月に決定する予定です。9月に公表する大学ホームページおよび合格通知書に同封する書類でご確認ください。参考として、以下に2017年度入学者の学費および諸会費を掲載します。

●第1年次学費

(単位：円)

	※4 文学部 経済学部 経営学部	法学部	政策学部	国際学部		理工学部	社会学部	農学部			短期大学部	
				国際文化 学 科	グローバル スタディーズ 学 科			植物生命科学科 資源生物科学科	食品栄養 学 科	食料農業 システム学科	社会福祉 学 科	こども 教育学科
入学金 ※1	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
前期授業料	380,500	380,500	380,500	388,000	465,500	489,500	380,500	474,500	474,500	474,500	398,000	408,000
前期施設費 ※2 ※3	30,000	30,000	30,000	25,000	25,000	70,000	30,000	90,000	115,000	25,000	30,000	35,000
前期実験実習料・実習料	—	—	7,500	5,000	—	71,800	17,950	71,800	96,800	17,950	27,450	27,450
前期留学実習料	—	—	—	—	85,000	—	—	—	—	—	—	—
小計（入学時納入金）	610,500	610,500	618,000	618,000	775,500	831,300	628,450	836,300	886,300	717,450	655,450	670,450
後期授業料	380,500	380,500	380,500	388,000	465,500	489,500	380,500	474,500	474,500	474,500	398,000	408,000
後期施設費 ※2 ※3	30,000	30,000	30,000	25,000	25,000	70,000	30,000	90,000	115,000	25,000	30,000	35,000
後期実験実習料・実習料	—	—	7,500	5,000	—	71,800	17,950	71,800	96,800	17,950	27,450	27,450
後期留学実習料	—	—	—	—	85,000	—	—	—	—	—	—	—
小計（後期納入金）	410,500	410,500	418,000	418,000	575,500	631,300	428,450	636,300	686,300	517,450	455,450	470,450
合計（初年度納入金）	1,021,000	1,021,000	1,036,000	1,036,000	1,351,000	1,462,600	1,056,900	1,472,600	1,572,600	1,234,900	1,110,900	1,140,900

※1. 入学金は入学年度のみ納入していただきます。

※2. 施設費は、文系学部（国際学部・短期大学部を除く）の場合は、年間260,000円、国際学部の場合は、年間250,000円、理工学部の場合は、年間340,000円、農学部の場合は、植物生命科学科・資源生物科学科は年間380,000円、食品栄養学科は年間430,000円、食料農業システム学科は年間250,000円ですが、入学時の学費負担軽減を図るため、入学初年度（1年次）は、年間200,000円を減免しています。

※3. 施設費は、短期大学部の場合は、社会福祉学科は年間360,000円、こども教育学科は年間370,000円ですが、入学時の学費負担軽減を図るため、入学初年度（1年次）は、年間300,000円を減免しています。

※4. 文学部歴史学科文化遺産学専攻は実習料として、前期17,950円、後期17,950円納入していただきます。

●第1年次諸会費

(単位：円)

	文学部 経済学部 経営学部	法学部	政策学部	国際学部		理工学部	社会学部	農学部			短期大学部	
				国際文化 学 科	グローバル スタディーズ 学 科			植物生命科学科 資源生物科学科	食品栄養 学 科	食料農業 システム学科	社会福祉 学 科	こども 教育学科
諸会費（入学時納入金）	31,500	32,500	32,500	32,500	32,500	31,500	30,500	31,500	31,500	31,500	31,500	31,500
諸会費（後期納入金）	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
合計（初年度納入金）	33,000	34,000	34,000	34,000	34,000	33,000	32,000	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000

注) 諸会費の内訳について

(1) 諸会費は、学会・学友会・親和会・校友会からの委託徴収金です。

(2) 各学部等には、それぞれの学術研究の推進のために、専任教員、大学院生、学部学生等で構成する学会を設けています。その学会の会費として、入会金2,000円（社会学部を除く）、学会費〔文学部・経済学部・経営学部・理工学部・農学部・短期大学部それぞれ年間3,000円、法学部・政策学部・国際学部・社会学部それぞれ年間4,000円〕を納入していただきます。

(3) 学友会は、全ての学生によって構成され、学生の声を反映させながら学生生活の改善・向上に取り組んでいる学生自治会です。その会費として、入会金4,500円、学友会費年間3,500円（前期2,000円、後期1,500円）を納入していただきます。

(4) 親和会は、学生の保護者をもって構成され、龍谷大学の発展に資し、あわせて会員相互の親睦を図ることを目的としています。その会費として、入会金3,000円、親和会費年間7,000円を納入していただきます。

(5) 校友会は、龍谷大学および短期大学部を卒業した人等で、組織されています。終身会費として、40,000円納入していただくことが必要ですが、この会費のうち、10,000円を入学時に予納していただくものです。なお、残額については、卒業年次に納入していただきます。

●第1年次納入金総額

(単位：円)

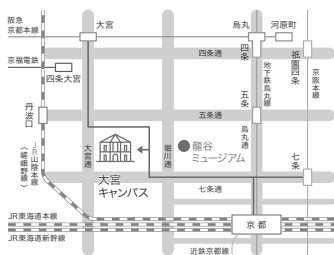
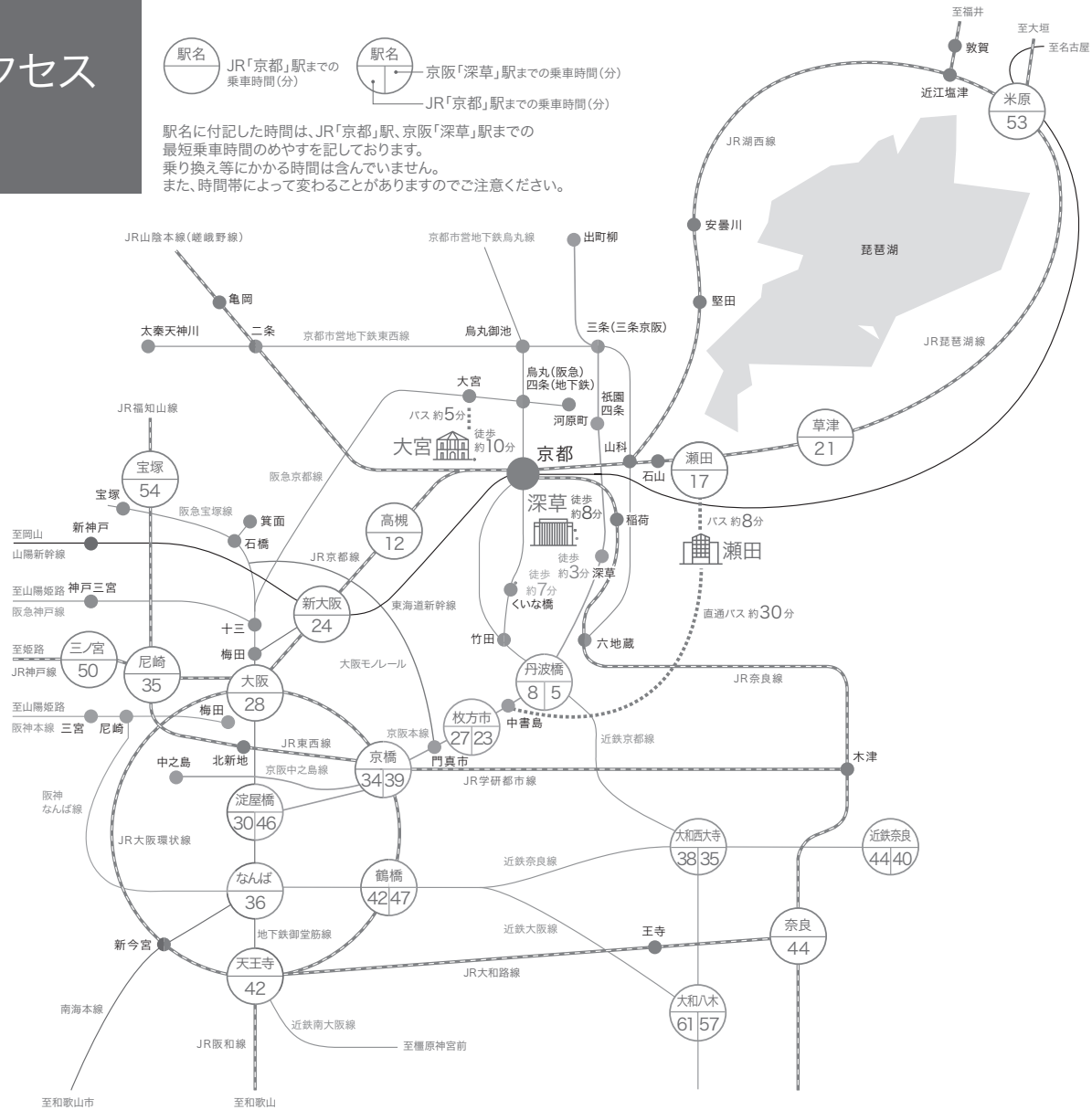
	※4 文学部 経済学部 経営学部	法学部	政策学部	国際学部		理工学部	社会学部	農学部			短期大学部	
				国際文化 学 科	グローバル スタディーズ 学 科			植物生命科学科 資源生物科学科	食品栄養 学 科	食料農業 システム学科	社会福祉 学 科	こども 教育学科
入学時納入金合計	642,000	643,000	650,500	650,500	808,000	862,800	658,950	867,800	917,800	748,950	686,950	701,950
後期納入金合計	412,000	412,000	419,500	419,500	577,000	632,800	429,950	637,800	687,800	518,950	456,950	471,950
総計（初年度納入金）	1,054,000	1,055,000	1,070,000	1,070,000	1,385,000	1,495,600	1,088,900	1,505,600	1,605,600	1,267,900	1,143,900	1,173,900

注) 後期納入金は、9月末日を納入期限としています。納入用紙は、9月上旬に経理課から郵送いたします。

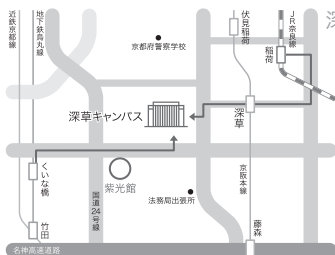
アクセス



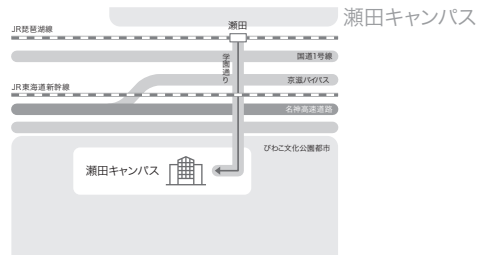
駅名に付記した時間は、JR「京都」駅、京阪「深草」駅までの最短乗車時間のめやすを記しております。
 乗り換え等にかかる時間は含んでいません。
 また、時間帯によって変わることがありますのでご注意ください。



- JR東海道本線・近鉄京都線「京都」駅下車、北西へ徒歩約10分(市バス約3分)
- 京阪本線「七条」駅下車、西へ徒歩約20分
- 阪急京都本線「大宮」駅下車、南へ徒歩約20分(市バス約5分)



- JR奈良線「福荷」駅下車、南西へ徒歩約8分
- 京阪本線「深草」駅下車、西へ徒歩約3分
- 京都市営地下鉄烏丸線「くいな橋」駅下車、東へ徒歩約7分



- JR琵琶湖線「瀬田」駅下車、車産バス約8分
- 京阪本線「中書島」駅下車、京阪バス約30分



龍谷大学
 RYUKOKU UNIVERSITY

入試部

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
 Tel 075-645-7887 (入試部ダイヤルイン) Fax 075-645-4155
<http://www.ryukoku.ac.jp/admission/>

大宮キャンパス	文学部	真宗学科、仏教学科、哲学科(哲学専攻・教育学専攻)、臨床心理学科、歴史学科(日本史学専攻・東洋史学専攻・仏教史学専攻・文化遺産学専攻)、日本語日本文学科、英語英米文学科
	文学部	文学研究科、実践真宗学研究科
深草キャンパス	文学部	真宗学科、仏教学科、哲学科(哲学専攻・教育学専攻)、臨床心理学科、歴史学科(日本史学専攻・東洋史学専攻・仏教史学専攻・文化遺産学専攻)、日本語日本文学科、英語英米文学科
	経済学部	現代経済学科、国際経済学科
瀬田キャンパス	経営学部	経営学科
	法学部	法律学科
	政策学部	政策学科
	国際学部	国際文化学科、グローバルスタディーズ学科
	短期大学部	社会福祉学科、こども教育学科
	大学院	法学研究科、経済学研究科、経営学研究科、政策学研究科、国際文化学研究科
	理工学部	数理情報学科、電子情報学科、機械システム工学科、物質化学科、情報メディア学科、環境ソリューション工学科
	社会学部	社会学科、コミュニティマネジメント学科、現代福祉学科
	農学部	植物生命科学科、資源生物科学科、食品栄養学科、食料農業システム学科
	大学院	社会学研究科、理工学研究科、農学研究科(設置認可申請中)